

この本を手にとってくれたあなたに

「明日、会社がなくなっても…」というタイトルに何となく不安を感じてこの本を手にとってくれたあなた。

安心してほしい。あなたには自分を客観的に見る能力がある。

自分の欠落した部分を自覚していることは、成長できる可能性も高いということだ。

あなたがこの本を読むことで、今日から働き方を変え、自分の人生のシナリオを自分で描くようになれば、そんな不安は大幅に減るだろう。

逆に「今すぐ会社を飛び出しても自分は大いじょうぶ」と思っているあなた。

実はそんなあなたにこそ、この本を読んでほしい。

おそらくあなたは自分に自信があるのだろう。根拠があるがなかるうが、自分に自信を持っていることはそれだけで大きな武器になる。だからそう思っているのは素晴らしいことだ。だが、冷静に客観的に判断してほしい。自分の力と思っているものの何割が、会社の看板によるものかということ。そうすれば、自分が会社を飛び出す前に、もっとやっておいた方がいいことが数多くあるのを知るだろう。

この本は、主に会社に勤めるビジネスパーソンであるあなたに向けて書かれたもの。もし、明日、会社がなくなっても、自分の名前（ちから）で何とかやっていけるようになるための、ロードマップとして。

この本は、ただ読むだけの本ではない。アクションを起こすきっかけとなる本だ。

第1章〜第3章の各項目の後ろには、「明日のために今日するべきこと」が書かれている。そんなに難しいことは書いていないので、ぜひ実行して欲しい。

書き出すというワークが多いので、専用のノートを買うのもいいアイデアだ。そのアクションによって自分がどれだけ変わったかを、ぜひ報告してもらいたい。

この本が何かしらあなたの人生が変わるきっかけになれば、こんなにうれしいことはない。